



「新年度を迎えて」



校長 小森直樹

私の娘二人が三本木高校の卒業生で、一人は附属中にもお世話になりました。そのため、私は一保護者としてこの「すずかけ」を読ませていただいています。まさか自分がその原稿を書くことになるとは夢にも思いませんでした……。

「すずかけ」とは、本校のシンボルであるプラタナスの木の和名です。恥ずかしながら、当時はそのことを全く意識することなくこの新聞を読んでいました。街路樹・庭園樹として人気があり日本の各地で見られる「スズカケノキ」ですが、落葉樹であり、夏は木陰を作り、冬は太陽の光を遮らず、虫がつきにくいため毛虫などが下に落ちてこないという利点があるそうです。高さは30メートルから50メートルにもなる巨木です。本校の「スズカケノキ」は、長い間、歴代の生徒たちを見守り、学校の歴史とともに歩んできました。私たち教職員も、この木のよ

り、木陰を作り、陽を遮らないような環境を整えてあげたい、生徒たちを大きくまっすぐに育てていきたいと思っています。

校是にある「規律ある進学校」「文武両道」を貫き、生徒の夢実現のためには、学校・家庭の協力が不可欠です。また、地域の協力も得ながらの学習活動推進となり、学校・家庭・地域の三者が一体となって後押しできればと考えています。保護者の皆様には、各ご家庭での生活面等でのご協力をよろしくお願いいたします。

コロナ禍で制限が多い日常ですが、生徒たちのために一生懸命頑張りたいと思っています。皆様のご理解とご支援をお願いし、「新年度を迎えて」のご挨拶といたします。

これからの社会に向けて



PTA会長 中村聖吾

日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。この度ご縁をいただき、伝統ある三本木高等学校並びに附属中学校のPTA会長を務めさせていただきますこととなりました中村と申します。大きな緊張を

編集・発行 青森県立三本木高等学校 三本木高等学校附属中学校 父母と教師の会 広報委員会
TEL 0176-23-4181 (高校) TEL 0176-24-1184 (中学校) http://www.kamikita.ed.jp/~sanbongi/
題字 書道部 高校3年2組 野宮 彩夏
印刷 / 日刊東北印刷所

目次
校長・PTA会長 1
高校教頭挨拶 2
中学校教頭挨拶 3
職員紹介・名簿 6
PTA役員名簿 3
進路指導部より 2
7 6 3 2 1

感じていいることと同時に新鮮さも感じています。何かと至らぬ点も多からうと存じますが、皆様と力を合わせて子どもたちの夢と健やかな成長を見守り活動していく所存でございます。さて、「生きていく」ためには働いて収入を得ることとなりますが、昨年12月に大手企業を中心に構成された日本経済団体連合会（経団連）が「新卒一括採用の見直し」を各企業に提案する方針を明らかにしました。「新卒一括採用」は「終身雇用」と並び、長らく日本の経済成長を支えた日本型雇用システムですが数年前から見直しの動きがあるようです。この雇用体系は国際的に失業率の低さに寄与する一方、日本経済を鈍化させるといいう指摘もあり、現に日本経済は「失われた20年」と揶揄されております。このような状況下の中、また雇用の流動性、仕事の多様化が加速する時代において、子どもたちは未来に向けて自らの人生をどのように拓き、生涯を生き抜く力をどのように培っていくことが、今まさに問われているものと感じます。

これからは子どもたちが、社会人になるまでには数多くの試練が待っています。将来の予測が困難な時代を前に、我々保護者と教師が一体となって子どもたちの一助となる活動をして参りたいと思っておりますので、一年間よろしくお願いたします。

十和田の方は誰でも知っていることだと思えますが、かつてこの地域は三本木原と呼ばれていました。江戸時代末期に新渡戸伝・十次郎父子が開拓し、明治維新期に戊辰戦争で敗れた旧会津（旧斗南）藩士らが移住し、三本木の町が作られていきました。日清・日露戦争の時代に現在の官庁街の辺りに軍馬補充部が置かれ、軍馬に選ばれた優秀な馬を育成するところになります。そして戦後、都市計画で碁盤の目状に区画された都市が形成されます。「十和田」の名称は、昭和31年に三本木市から十和田市に名称変更してから使われるようになりました。「十和田」の名称は、ご存じのように十和田湖から来ています。大町桂月が雑誌で紹介し、国立公園指定後、日本有数の観光地となりました。そのため十和田湖のある法奥沢村は十和田村（合併前の十和田湖町）と改称しました。三本木市が十和田市と改称したのは、十和田湖の知名度が高かったからだと思います。

ですから十和田市で歴史と伝統のあるものは「三本木」の名称、比較的新しいものは「十和田」の名称を使っていると思われれます。当然、三本木高校は創立100年を迎える歴史と伝統のある学校ですので、校名が「三本木」なのでしょう。



高校教頭 宮本利行

「三本木」と「十和田」

「安心感」



附属中学校教頭

ふたつもり
一二ツ森 孝史

この度、上北教育事務所から赴任して参りました。三本木高校は私の母校であります。縁あって本校に勤務できることを大変うれしく、そして幸せに思っております。

さて、赴任するにあたり、私自身が大切にしたいことは、タイトルにある「安心感」です。生徒が「安心」して登校する、保護者や地域の方が「安心」する学校である、同僚や家族が「安心」して仕事に励む、等が挙げられます。様々な相手に「安心感」を与えると、最後は、「自分」が安心できるのではないのでしょうか。

この一か月で、私は、元気に挨拶し、集中して授業に取り組む生徒たちから「安心感」をもらいました。また、生徒たちに対し、しっかりと寄り添う先生方に「安心感」を覚えしました。改めて、学校は楽しいところだと実感しています。

今後も、多くの方々からのご理解とご協力いただきながら、生徒一人一人の努力が将来確実に実を結ぶよう、職員一同邁進して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

